



## ついに全クラスに設置



【4年1組】



【1年1組】



【3年2組】

ますます授業が  
分かりやすくなる!?

先週、大型モニターディスプレイが3台搬入され、これで全クラス配置となりました。今までは学年の中で調整しながら使用していましたが、これでどのクラスも毎時間使用することができるようになります。デジタル教科書や各種教材は今や日常使いです。この後、一人1台端末となりますが、中教審答申で述べられたように『PCは文房具』という位置づけです。子供たちの活用能力を伸ばしていきたいものです。

ただ、授業名人と呼ばれる野口芳宏氏が実験で、NHKの社会科の番組をある期間授業ですっと流した後、テストをしてみたら全く点数が取れない結果になったといひます。教師と子供、子供同士が直接関わってこそ、学力が付いていくということを大切にしたいと考えています。

## 「働き方改革」と言われますが… その1

昨年度のこの時期に本校の「先生の働き方改革」の様子をお伝えしました。あれから1年、働き方改革は進んだのか？その後、並木小学校はどうなっているか？

学年末を迎え、いよいよ通知表作成や一年間のまとめと次年度への準備の時期となりました。つつい先生方に求めるものが増える自分にも気付しつつ、それでも先生方への負担を減らさなくては、と考えています。そこで、ある先生に「子供たちに係ることで少し減らせる業務はありませんか？」と聞くと「う～ん、減らすことは考えられません。もっとやってあげなくては、と思うぐらいです。」との返事が返ってきました。

本校の勤務状況はというと、昨年と比べるといくらか退勤時刻は早くなったかな？というところす。(職員室に灯りがついているので、夜何時頃まで先生がいるのか分かってしまいますが…)文科省のガイドライン「超過勤務時間月間45時間以内」というのはかなり難しい状況です。こう書くと「頑張ってるアピール」のようになってしまいますが、現状として保護者の皆さんにも知っておいていただきたいと思います。

「早く帰りましょう。」と校長に言われて平日早く帰っても、土日に来ては同じこと？では、いつ仕事を進めるか？と考えたときに、「平日の放課後に時間を作る」と考えたのが先日お知らせした日課の考え方です。

「市町村立学校県費負担教職員の勤務時間に関する条例」で、教職員の勤務時間は1日7時間45分とされています。「労働基準法」で労働時間が6時間を超える場合は途中で45分間の休憩(昼休み)をとらなければならないことになっているので、合わせて8時間30分の勤務時間となります。本校では8時10分から16時40分までを勤務時間としています。といっても実際は、「先生は、朝、教室で笑顔で子供たちを迎えましょう。」とされ、登校時刻よりかなり前に出勤しています。子供たちのいる間は休憩時間をとることはできないので、実際は8時間30分間、休憩時間なしで勤務していることになります。現在、子供たちが下校した後、先生たちがほっと一息して教材研究などの放課後の仕事を始めるのは16時過ぎごろです。そこで、登校時刻を5分早め、職員の出勤時刻は10分早めるなどの日課の見直しをして放課後に時間を作ることにしました。今後、日課の見直しにより子供たちの下校時刻を早めることで、現在より15～20分間放課後の時間を増やすことができます。この勤務時間内に、現在より少しでも多く、仕事を進める時間を作ることにしたのです。(結局、先生たちの休憩時間はどこに行ったの？ということになってしまいますが…)

昨年度、勤務状況等について書いた学校だよりの一部分を添付します。改めてご覧ください。次号では、何を減らすか？ということについて考えます。